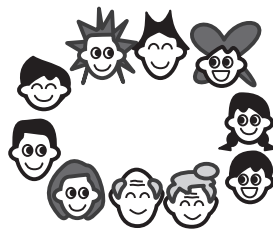


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員

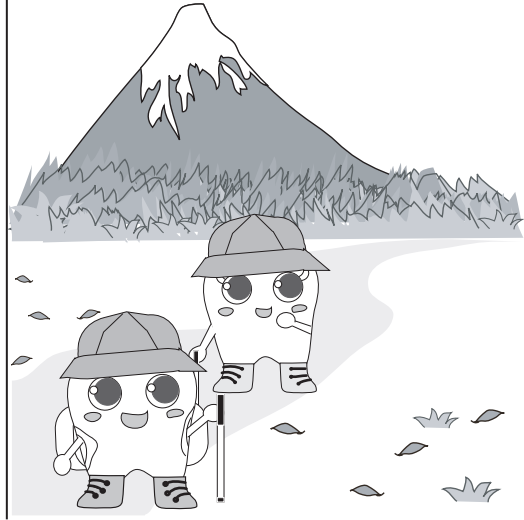


令和4年10月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さんこんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

口腔内の実態は、厚生省が5年に1度実施している歯科疾患実態調査が参考になります。80～84歳の高齢者について平成28年の調査結果(令和3年は新型コロナにより調査が中止)を見ると、残っている自分の歯は平均15.3本、むし歯を治療した処置歯は詰め物が32.0%、被せ物が48.8%です。義歯についてはブリッジが45.1%、部分入れ歯が42.4%、総入れ歯が31.3%で、歯をきれいに保つには歯ブラシ1本だけで、という訳にはいかない状況です。そのため、具合の悪い所があちこちに出てきて治療を繰り返すケースも少なくありません。中でも歯ぐきに関するものは、「噛めない」「口が乾く」に続き3番目に多い訴えです。今月は、「歯ぐきの腫れや痛み」についてご紹介したいと思います。



■ 高齢者の歯ぐきに関する訴え

高齢者では歯ぐきの腫れや痛みの訴えが歯の痛みに関する訴えよりも2倍程度多いのが特徴です。歯ぐきの症状は、細菌感染が原因であることが多く、高齢者は免疫力が低下傾向にあり体調を崩しやすいことから、歯ぐきの症状が出やすいと考えられます。

■ 代表的な原因は・・・

<歯周病> 8020運動が広まり残存歯が多くなった半面、歯周病の罹患率が増加しています。歯と歯ぐきの境目の汚れに歯周病菌が繁殖して炎症を起こします。歯を支えている周囲の骨が次第に溶けて、最後は歯が抜けてしまう病気です。初期は自覚症状がなく気付かない人がほとんどですが、歯と歯ぐきの間に膿が溜まり歯ぐきが腫れて痛みます。フロスや歯間ブラシを使用して歯周をきれいに保つことが大切です。

<根尖病変(こんせんびょうへん)> 歯の根っこの先端(根尖)の細菌感染病巣が原因です。むし歯が進行している歯やむし歯の治療をしたことのある歯の周辺の歯ぐきが腫れと痛みを繰り返します。むし歯が進行して神経が死んでしまったり根の治療が不十分な

ことや根が割れたりしていることが主な原因です。溜まった膿を排出するためにおできのようなものが歯ぐきにできることもあります。

<入れ歯・歯ブラシによる傷> 合わない入れ歯を使っていると歯ぐきに擦り傷ができて痛くなります。我慢してそのまま使っていると傷が悪化して入れ歯が使えなくなります。原因は、入れ歯が変形したり口の中の形が変化したり残っている歯が動くことです。入れ歯を使用している場合は、半年に1回は定期的に歯科でチェックすることをおすすめします。また歯磨きの際に歯ブラシで強く歯ぐきを擦り過ぎても傷となり痛みがでます。

<口内炎> 頬の内側や歯ぐきをはじめ、口腔内の広い範囲に発生する粘膜の炎症で、多くが痛みを伴います。食事や歯磨き、会話等に支障をきたすこともあります。原因は様々で、栄養バランスの乱れ、ストレスや睡眠不足、免疫力の低下、細菌・ウイルス、病気や服薬している薬等です。一般的な口内炎は通常1～2週間で治りますが、多発したり長引く場合は早めに歯科や内科を受診しましょう。

◆ 歯ぐきの異常は早めに歯科を受診して原因を調べて治療をしましょう！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00～12:30/14:00～18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413